

能登半島地震における 保健師派遣と 医療ボランティアの 活動と今後について

2024年7月5日（金）

地域包括ケア推進課 保健師 郡司千和美

ボランティア期間
令和6年3月20日～23日

派遣期間
令和6年2月4日～9日



令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の状況

令和6年2月5日(月) 7時00分時点
国土交通省・石川県

- 1/2から幹線道路の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、地元を中心とした各建設業協会や(一社)日本建設業連合会の応援を受け、緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸側・海側の両方からくしの歯状の緊急復旧も進めており、11方向で通路を確保。
- 孤立集落は1/19に実質的に解消。引き続き、水道・電力などの要望、自治体の要請を踏まえ、緊急復旧を実施。

・主要な幹線道路における緊急復旧の進捗率

	1/7 7時	現在
半島内の 主要な幹線道路	約6割 ⇒	約9割
うち国道249号 沿岸部※1	約2割 ⇒	約8割 (迂回路を考慮 約9割)
沿岸部への到達 ※2	6方向 ⇒	11方向

※1: 輪島市門前町～珠洲市役所、※2: 内陸側・海側の両方

・孤立地区数の推移※3

1月5日8時	33地区 (最大3,345人)
1月29日16時	実質的に解消 (3地区10人)※4

※3: 内閣府防災資料より
※4: 避難の意向なし

・生活インフラ復旧に必要な重要箇所の緊急復旧状況※5

優先復旧の要望数	43箇所
うち完了数	27箇所(約6割)

※5: 水道、電力、通信、放送事業者より聞き取り

写真③ 国道249号法面崩落



写真④ 国道249号大谷ループ橋



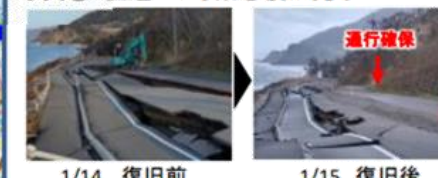
写真⑤ 国道249号大谷トンネル



写真⑥ 国道249号中谷トンネル



写真⑦ 国道249号緊急復旧完了



凡例

- : 国交省対応(走行可能)
- : 県対応(走行可能・この他でも作業を実施)
- : 自衛隊対応(走行可能)
- : 自動車専用道路(走行可能)
- : 自動車専用道路(走行不可)
- ✕ : 被災規模 大
- : 孤立集落(内閣府防災資料)
- ★ : 国復旧業者作業箇所
- : 沿岸部への到達点

○ 断水の状況

1月 1日 16市町 約 11万戸 【最大】



8市町 約6万6千戸 で断水解消

1月26日 8市町 約 44,145戸 【現状】

(内訳)

輪島市	約10,000戸	珠洲市	約4,800戸
穴水町	約 2,600戸	能登町	約5,300戸
七尾市	約15,400戸	志賀町	約5,200戸
羽咋市	約 85戸	内灘町	約 760戸

※断水解消

白山市、加賀市、津幡町、宝達志水町、
金沢市、能美市、中能登町、かほく市

○ 給水対応

給水車派遣：日本水道協会（全国の241自治体）
陸上自衛隊、航空自衛隊
国土交通省 各地方整備局

延べ3,900台

給水支援：海上保安庁の巡視船、海上自衛隊の
多用途支援艦による給水車への水の補給



応急的な住まいの確保

○ 公営住宅等の空室提供

公営住宅：全都道府県にて約9,000戸確保
入居決定戸数：約550戸（うち石川県内275戸）
UR賃貸住宅：全国で300戸確保 ※高齢者からの生活相談に対応
国家公務員宿舎：石川県内にて139戸確保
（105戸について県に使用許可）

○ 賃貸型応急住宅（みなし仮設）

石川県内の提供可能戸数：約4,300戸
入居決定戸数：1,194戸
新潟県、富山県内の提供可能戸数：約15,000戸

○ 建設型応急住宅

石川県：3月末までに約3,000戸着工の見通し

	七尾市	輪島市	珠洲市	内灘町	志賀町	穴水町	能登町	7市町
（着工日） 着 工	（1/20～） 180戸	（1/12～） 548戸	（1/12～） 303戸	（1/31～） 34戸	（1/26～） 97戸	（1/15～） 76戸	（1/15～） 98戸	1,336戸
完 成 （完成日）	-	18戸 （1/31）	-	-	-	-	-	18戸



※地図には1/31までに着工した団地のみを表示

建設型応急住宅の立地



プレハブ住宅（設置例）



木造仮設住宅（設置例）



ムービングハウス（設置例）



トレーラーハウス（設置例）

恒久的な住まいの確保

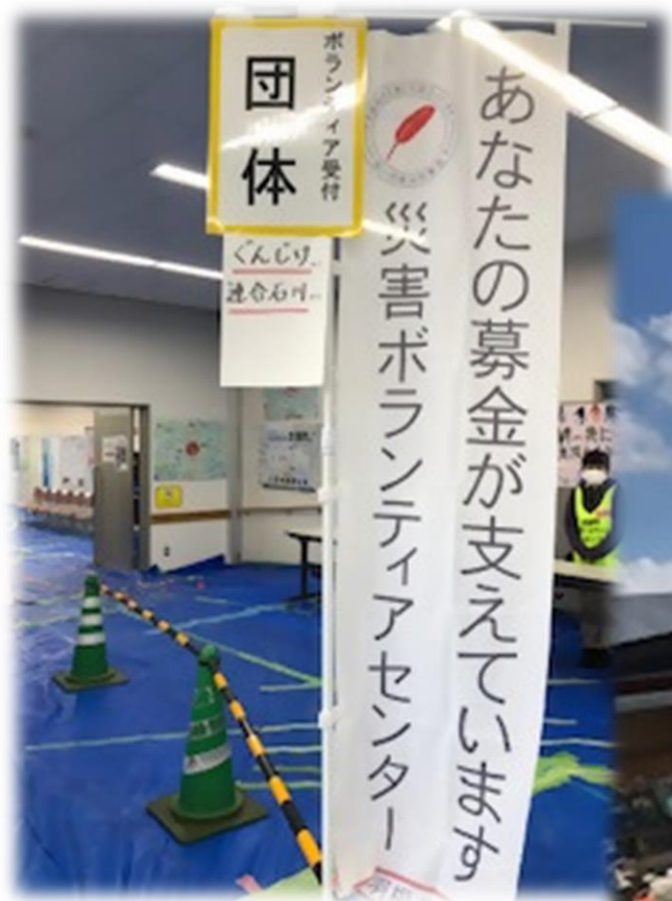
- 住宅金融支援機構の災害復興住宅融資制度
- 自力での再建等が困難な被災者への公営住宅の整備

- 被災住宅の補修等に関する電話相談を受け付けるフリーダイヤルを開設
『令和6年能登半島地震による被災住宅補修等相談ダイヤル』 0120-330-712
- 被災自治体にて被災住宅に関する専門家の相談窓口を開設
- 「住まい再建事業者検索サイト」にて被災した住宅の補修工事等が可能な事業者を情報提供
- 公営住宅等の空室提供と賃貸型応急住宅の提供に係る問い合わせ先等を情報提供

ボランティア期間
令和6年3月20日～23日



医療ボランティアについて



DC-CAT (Disaster Community Care Team) は…

✿ 一人ひとりの少しずつを集結し大きな力に ✿

約300名の現役の看護・ケア職の専門家集団です。
災害亜急性期～慢性期を中心に、
被災地の県庁・基礎自治体や職能団体、
各所の保健医療福祉調整本部、
NPO等と連携しながら、フェイズに応じた支援提供を行います。
助かったいのちのその先の”生きる”を支え、
災害関連死の阻止に努めている活動しています。

◆◆活動内容◆◆

1. 避難所等におけるケア提供

災害亜急性期～慢性期に、避難所等で増大するケアニーズに対応するため、既定の研修を修了した看護・ケア職が被災地に出向き、直接支援にあたります。助かったいのちのその先の”生きる”を支え、災害関連死の阻止に努めています。

2. 直接支援の現場コーディネート・他団体との相互理解の上での協働による 支援スキームの構築

被災地の県庁・基礎自治体や職能団体、各所の保健医療福祉調整本部、NPO等と連携・協働しながら、フェイズに応じた、また被災地および住民の方々のニーズベースの支援のコーディネーションを行います。

3. 自治体や地元の職能団体・医療福祉機関等との協働による 地域共生社会・地域包括ケアの復旧支援

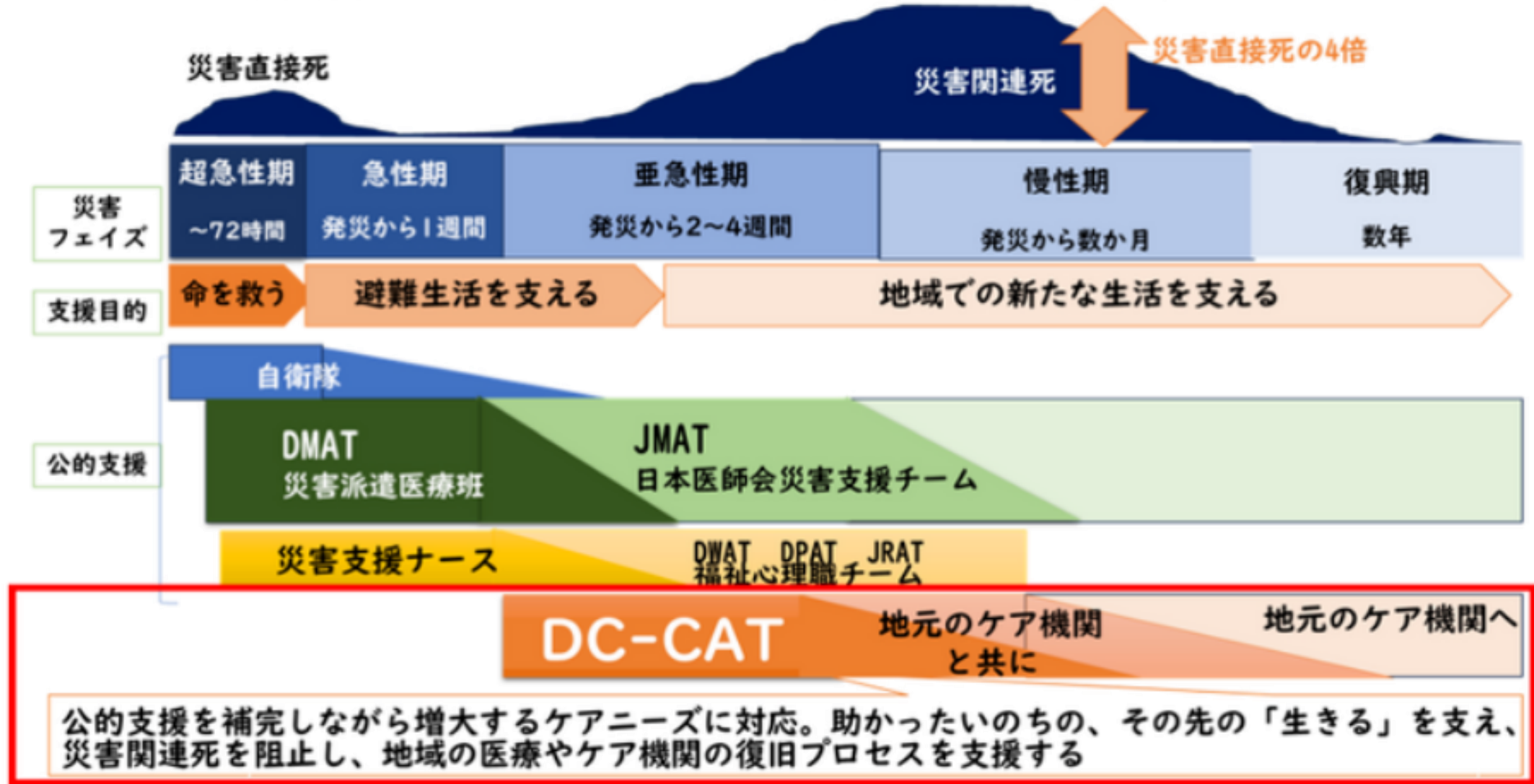
自治体や地元職能団体・医療福祉機関・住民等と共に、コミュニティ復旧を目指します。

4. 被災地におけるケア提供に関するQuality Managementのための 教育・研修・フィードバックの実施

アカデミア機関との連携により、提供される支援の質の担保、評価、改善を行っていきます。

出典：DC-CAT Facebook

災害フェイズとヘルスケア領域の支援団体



山岸暁美, 佐々木淳, 加藤忠相, 榊原千秋, 貝原敏江, 他. 地域BCPのススメ~有事に増大するケアニーズに如何に対応するか~, inpress

出典: DC-CAT Facebook

持続可能な医療ケア体制の仕組みづくりが不可欠です。

DC-CATは能登半島地震の被災地に、
これまでに延べ600人を派遣し支援活動を行ってきています。
現在、石川県庁および輪島市、穴水市、七尾市、志賀町などの自治体、
また職能団体と連携しながら、避難所や福祉施設に専門職を派遣、ケアを提供しています。

厳しい環境の中で、必要なケアが受けられず、衰弱しつつある高齢者がたくさんおられます。
十分な支援が提供できていない避難所や地域もまだ存在しています。

専門職たちも被災者と同じ、厳しい状況の中で、
一つでも多くのいのちを守ろうと、
また助かって良かったと思ってもらえるようなケアを模索しながら、
日々奮闘しています。



出典：DC-CAT Facebook

保健師派遣について



1日のスケジュール

8時 朝全体ミーティング
朝保健師ミーティング

9時 午前の活動開始
※支援が必要なケースは随時報告・相談

12時 活動に応じて1時間休憩

13時 午後の活動開始
※支援が必要なケースは随時報告・相談

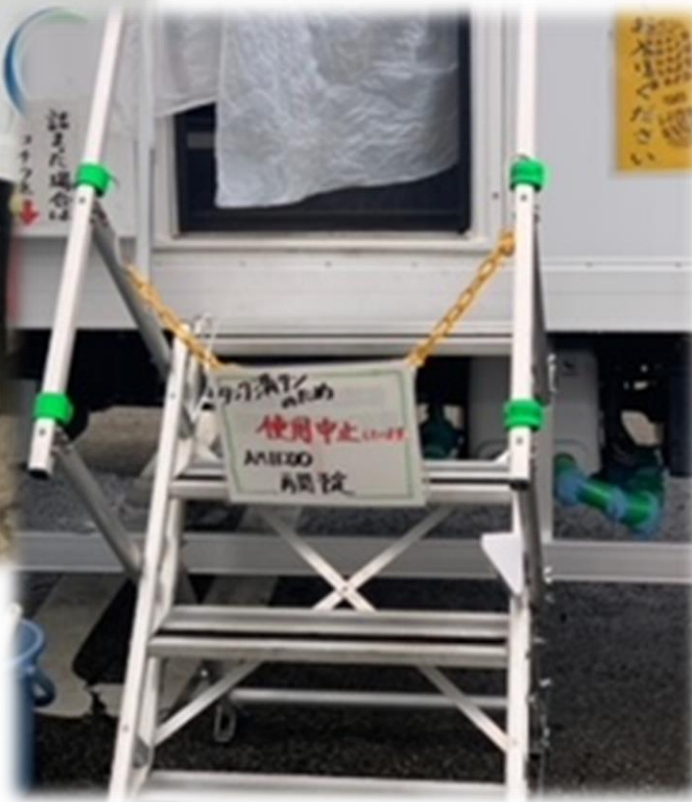
15時 相談記録入力用のPC設置

16時 夕方保健師ミーティング

17時 夕方全体ミーティング

18時～21時頃 石川県との業務整理及び翌日の予定調整

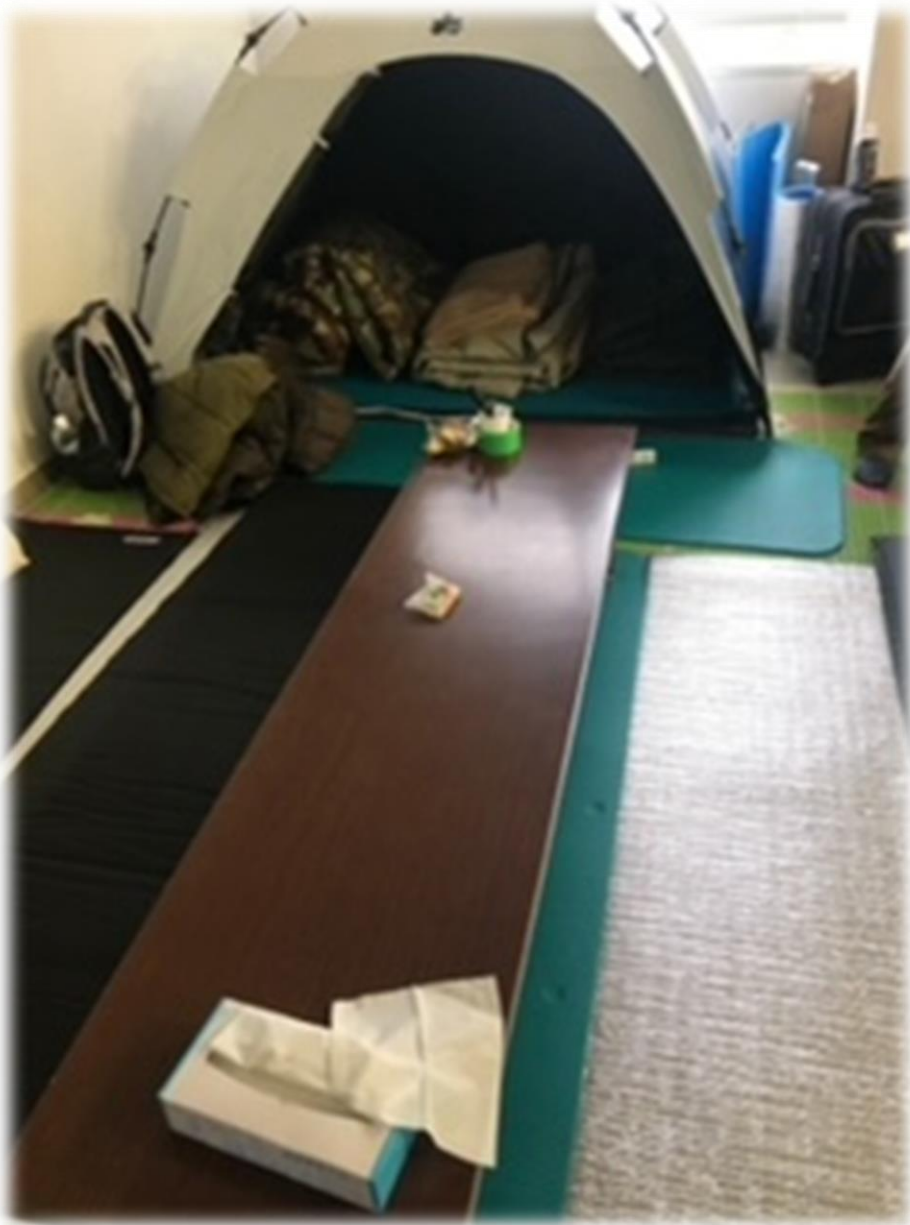
トイレ事情



シャワー・手洗い事情



センター内部



健康増進センター

ご清聴ありがとうございました

